

# <マニュアル訂正連絡票>

## FUJITSU Software

### ASP Systemwalker ListWORKS 説明書 V30

[J2K0-6120-01]

2020年6月30日発行

修正箇所(章節項): 2.4.3 サーバ動作環境定義文

#### 旧記事

“表 2.1 サーバ動作環境定義文の情報” にサーバ動作環境定義文の主なオペランドについて説明します。

表 2.1 サーバ動作環境定義文の情報

情報名	オペランド	説明	省略値
コメント	#	コメントを記述する場合に使用します。“#”は第1カラムに記述する必要があります。	省略可
入力監視時間	INTIME=	ListWORKS クライアントの状態を監視する間隔を1～1440の分単位で指定します。 INTIME で指定した間隔を元に、クライアントからサーバに対して通知を行います。 クライアントから通知がない場合は切断されたとみなし、セッションをクリアします。  ※ Web ゲートウェイでは、通知は行われませんので INTIME で指定した時間内にアクセスされない場合は、セッションをクリアします。	0
途中略			
ベクトルオーバーレイ複写先パス名	OVLCPPATH=	ベクトルオーバーレイを複写する複写先ディレクトリ名を絶対パス名で指定します。絶対パス名は191バイト以内の文字で指定します。ディレクトリは、新規の場合ListWORKS が作成します。 既存の場合、オーバーレイ格納ディレクトリであるか確認します。 オーバーレイ格納ディレクトリでない場合はエラーとなります。 省略した場合、ベクトルオーバーレイ複写先パス名は、“ListWORKS システムディレクトリ/LV0VL/KOL2” となります。	省略可
動的配信連携定義ファイル格納ディレクトリ	DINFPATH=	動的配信連携定義ファイルの格納ディレクトリを指定します。 省略した場合、動的配信連携定義ファイルはListWORKS システムディレクトリに格納されます。	省略可

**新 記 事**

“表 2.1 サーバ動作環境定義文の情報” にサーバ動作環境定義文の主なオペランドについて説明します。

表 2.1 サーバ動作環境定義文の情報

情報名	オペランド	説明	省略値
コメント	#	コメントを記述する場合に使用します。“#”は第 1 カラムに記述する必要があります。	省略可
入力監視時間	INTIME=	ListWORKS クライアントの状態を監視する間隔を 1～1440 の分単位で指定します。 INTIME で指定した間隔を元に、クライアントからサーバに対して通知を行います。 クライアントから通知がない場合は切断されたとみなし、セッションをクリアします。  ※ Web ゲートウェイでは、通知は行われませんので INTIME で指定した時間内にアクセスされない場合は、セッションをクリアします。	0
途中略			
ベクトルオーバーレイ複写先パス名	OVLCP-PATH=	ベクトルオーバーレイを複写する複写先ディレクトリ名を絶対パス名で指定します。絶対パス名は 191 バイト以内の文字で指定します。指定されたディレクトリが存在しない場合、ListWORKS が作成します。 指定されたディレクトリが存在する場合、オーバーレイ格納ディレクトリであるか確認し、オーバーレイ格納ディレクトリでない場合はエラーとなります。 省略した場合、ベクトルオーバーレイ複写先パス名は、“ListWORKS システムディレクトリ/LVOVL/KOL2” となります。	省略可
動的配信連携定義ファイル格納ディレクトリ	DINFPATH=	動的配信連携定義ファイルの格納ディレクトリを絶対パス名で指定します。絶対パス名は 191 バイト以内の文字で指定します。指定されたディレクトリが存在しない場合、ListWORKS が作成します。 省略した場合、動的配信連携定義ファイルは ListWORKS システムディレクトリに格納されます。	省略可